



「養護教諭スキルアップ研修」

責任者：大久保 牧子 共同者：小野 智南

令和7年度岩手県立大学看護実践研究センター事業

・活動の概要

養護教諭の実践活動の向上を目指し、現代的健康課題に適切に対応するために必要とされる知識・技術の習得と、新たなネットワーク構築を図ることを目的に研修会を開催した。

【第1回】子どもの個別最適な学びを実現する養護教諭の機能と役割

「ABA療育とペアトレの実践から学ぶ対処法」「医療的ケア」

【第2回】保健室でのフィジカルアセスメントのコツ

「フィジカルアセスメントのコツ」「学校救急処置のQ&A」「学校での応急処置における迷いや疑問」



・活動の成果

本研修会は2回にわたり実施し、延べ参加者数は51名であった。

第1回では、講義や実技演習を通し、児童生徒一人一人の実態に応じた支援の在り方や、関係機関との連携の重要性について理解を深める機会となった。

第2回では、講義や実技演習に加え、応急処置における「判断」や「対応」に関する迷いや疑問についてグループディスカッションを行い、「確認」を重ねながら「経験の共有」を図り、課題解決につなげた。さらに、医師によるスーパーバイズを受けることで理解を深めた。

両研修会ともに養護教諭同士の情報交流の場となり、有意義なものとなった。また、参加者から事前に寄せられた質問に対して講師が回答したことが、参加者の満足度の向上につながった。今後の研修会の継続や参加を望む声も多く、養護実践に資する内容を検討しながら、研修会を継続していきたい。

